

■ 説明会の記録

1. 谷井田小学区

日時：平成 27 年 12 月 3 日（木）19：00～21：00
出席：27 名（子どもを除く）



(説明会の様子)

■『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会 質問・回答一覧(谷井田小学区)

主な質問・意見		回答																																			
1. 基本計画全般について																																					
1	この説明会が終わった後、3月に策定では期間が短すぎるのではないか。	一般公募、学校関係者、議会の関係者、各PTAの代表の方による審議会における答申に基づき、市の行政内部で計画（＝答申とほぼ同じ内容）としてとりまとめたものである。																																			
2	住民説明会等によって意見を集約した後、計画案を作成する流れであるべき。	この統廃合を進めていく上でベストだと考えられる市の考え方を、一般市民やPTA代表も含まれている審議会においてまとめた答申をベースに計画（案）としてとりまとめた上で、皆様のご意見をお聞きしたいと考えた。																																			
3	今回も含めて説明会を実施し、矛盾なり問題なりが出てきた場合、どういう対応を図るのか。	計画に添って必ずしも進めなければならないことではないが、教育環境を整えていく責任は市にある。市としての考え方をまとめ、その説明をして、理解をいただきながら、学校の統廃合の取り組みを行っていきたい。																																			
4	本年度末の段階でも計画(案)のとりまとめというレベルでもいいのではないか。	あやふやな考えで、地元で説明をしていくわけにはいかない。関係者の方々との具体的な統廃合に向けた意見のすり合わせに向けて、計画としてのとりまとめが必要がある。																																			
5	このような統廃合の課題は全国で起こっている。近隣市町村での取り組みについてはどのような状況か。	<p>近隣の状況であるが、かすみがうら市、小美玉市、行方市、桜川市、取手市、笠間市などで行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校数 (統廃合前と後)</th> <th>目標年度</th> <th>小学校適正規模 (学年あたり)</th> <th>中学校適正規模 (学年あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かすみがうら市</td> <td>13校を5校</td> <td>H28年度</td> <td>2学級以上</td> <td>3学級以上</td> </tr> <tr> <td>小美玉市</td> <td>12校を7校</td> <td>H34年度</td> <td>2学級以上</td> <td>3学級以上</td> </tr> <tr> <td>行方市</td> <td>18校を4校</td> <td>H30年度</td> <td>2学級以上</td> <td>3学級以上</td> </tr> <tr> <td>桜川市</td> <td>11校を4校</td> <td>H36年度</td> <td>2学級以上</td> <td>3学級以上</td> </tr> <tr> <td>取手市</td> <td>18校を12校</td> <td>H28年度</td> <td>2学級以上</td> <td>3学級以上</td> </tr> <tr> <td>笠間市</td> <td>14校を10校</td> <td>H27年度</td> <td>2～3学級</td> <td>3学級以上</td> </tr> </tbody> </table>		学校数 (統廃合前と後)	目標年度	小学校適正規模 (学年あたり)	中学校適正規模 (学年あたり)	かすみがうら市	13校を5校	H28年度	2学級以上	3学級以上	小美玉市	12校を7校	H34年度	2学級以上	3学級以上	行方市	18校を4校	H30年度	2学級以上	3学級以上	桜川市	11校を4校	H36年度	2学級以上	3学級以上	取手市	18校を12校	H28年度	2学級以上	3学級以上	笠間市	14校を10校	H27年度	2～3学級	3学級以上
	学校数 (統廃合前と後)	目標年度	小学校適正規模 (学年あたり)	中学校適正規模 (学年あたり)																																	
かすみがうら市	13校を5校	H28年度	2学級以上	3学級以上																																	
小美玉市	12校を7校	H34年度	2学級以上	3学級以上																																	
行方市	18校を4校	H30年度	2学級以上	3学級以上																																	
桜川市	11校を4校	H36年度	2学級以上	3学級以上																																	
取手市	18校を12校	H28年度	2学級以上	3学級以上																																	
笠間市	14校を10校	H27年度	2～3学級	3学級以上																																	
6	平成 21 年から取り組んでいるにすれば、時間軸が長すぎである。	平成 21 年から取り組んでいる状況について、今まで時間がかかってしまった点は正直にお詫びしたいと思う。																																			
7	p 7について。子ども達が第一であれば、合意形成に時	保護者への説明においても「子ども達のための教育環境を整えていくことを第一に考えている」といったことを十分に説明																																			

	間を費やさず、先進事例を取り入れ、素早くやるべき。	し、他市町村の成功事例や有効な解決方策を研究しながら進めてまいりたい。
8	p10について。小張・陽光台が統合し、さらに統合するように読める。	基本的には統合回数は1回という原則論のもと計画を作っているため、同じ学区（通学区のこと。以下学区と表示）で複数回の統合はない。ご意見を踏まえて、わかりやすい説明となるようにしたい。
9	p6について。陽光台小学校の運動場は、学年単位で使い合っており、子ども達にも負担となっている。それでも、小張・陽光台の統合か。	陽光台小学校の面積は、土地区画整理事業（茨城県事業）の中で生み出された土地として決められた。一方、小張小学校の運動場は面積上広く見えるが、階段状に2段になっており利用しにくい形状となっている。 統合パターンの検討に当たっては、学校施設の状況や児童数の推移をはじめ、様々な要因を総合的に考えたものである。
10	今後、大規模マンションの出来たら、足りなくなるのではないか。（仮称）富士見ヶ丘小のキャパシティは大丈夫か。	（仮称）富士見ヶ丘小の想定学区エリアは、低層住宅地が中心となり、マンションのようなものは建つことはない。 みらい平地区の児童も、今は増加しているが将来的には減少する傾向となり、そのような長期的な視点も踏まえた。 （仮称）富士見ヶ丘小については、多目的な教室を用意し、柔軟な対応が可能な設計を考えている。
11	小規模校の良さも理解している中で、統合するとした市の考え方の背景を教えてください。	小規模校では、子どもの数が少なくなっている状況が学校運営上にも支障をきたしている。それらの問題解消に頑張っており取り組まれているからこそ、良好な教育が維持されている。 子ども達の教育環境を整えていくことを第一に考えると、小規模校の良さだけを見ては課題が多いように思う。
12	廃校となる学校施設が今後果たす地域の役割をどう考えるか。	地域の活力を維持する上で、学校は重要な役割を果たしていることは十分認識している。 空調設備や耐震化などを実施した関係上、施設を解体していくことはせず、今後も地域の方々が集う場所となるよう廃校となった学校施設の利活用を考えていきたい。
13	保護者や先生の意見の把握はどのようにするのか。	計画策定にあたっては、20歳以上の一般市民の中から無作為抽出した方のほか、未就学児・小学生・中学生を持つ保護者全員を対象としたアンケート（計7,671世帯）を平成25年度に実施した。それらの意見を踏まえ、一般公募、学校関係者、議会の関係者、各PTAの代表の方による審議会において検討し、それぞれの所属組織において話を持ちかえっていただき、内容をとりまとめ、答申としたものである。
14	統廃合は、全体を一緒に行うのか、できるところから部分的に実施するのか、	平成28年以降から、今回示した枠組みの中で説明会を開催しながら、地域の皆様のご意見を聞きながら進めていこうと考えているが、具体的な統廃合の年度は学校ごとには定めていない。 複式学級の発生する学校を優先的という視点はあるが、課題はそれだけではないため、スタートラインは全校一斉と考えている。熟度が異なってくる場合があるので、3校の場合は話し合いの進捗状況によって、調整しながら進めていきたいと考えている。
15	p9「学級規模が1学級20人を越えれば、単学級でも認める」ということはどういうことか。1学級20人を割ってなければ良いのか。	1学級20人＝120人いる学校が最低限という意味である。表現が分かりにくいようなので、p9に（20×6学年＝120人の児童が確保される学校であれば、単学級でも認めることを表す。）の記載を追加する修正を加えた。
2. 合意形成について		
1	地域の合意は、どのような方法によって行い、何をもち	平成28年以降からは今回示した枠組みの中で説明会を開催しながら、こういう課題を解決してほしい、といったそれぞれ

	て合意とみなすのか。住民説明会などは行うのか。	<p>れの意見や要望をもらいながら、我々も意見に沿うように対応を考え、お互いに共通理解を持ち、話し合いを続けながら進めていく考えである。</p> <p>アンケートなどで何%以上などという数値的なもので合意の状況を把握することはなく、計画案の説明を丁寧に行い、統廃合に向けた話し合いの中で、それぞれの課題部分の解消を考え、機運の高まり状況を確認しながら、進めていく予定である。</p>
3. その他		
1	説明については、もう少しゆっくり話をしてほしい。	ご指摘の点を踏まえ、今後の説明においては、できるだけゆっくりと話すよう心がけ、わかりやすく理解できるよう配慮したいと思う。
2	できれば説明会場にはテーブルを設置してほしい。	ご指摘の点を踏まえ、会場には今後テーブルの用意などをし対応したい。
3	p11・p12の資料の位置が違うのではないか。今後の児童数の見通しは、もっと前に掲載すべきだと思う。	p11・p12については、今後の見通しと枠組みの両方を示している。説明の中で、わかりやすく解説するよう配慮したいと思う。